

再処理施設の工事計画に係わる変更内容および理由について

当社は、これまで再処理施設のアクティブ試験を平成17年12月に開始することとしておりました。

しかしながら、ガラス固化体貯蔵施設の改造工事の終了を年内と見込んでいたこと、ウラン試験の最終段階である総合確認試験の終了を平成18年1月中とみていることから、アクティブ試験の開始を「平成18年2月」に変更いたしました。

また、アクティブ試験期間は、これまでの計画と同様の約17か月としていたことから、再処理施設のしゅん工時期を「平成19年5月」から「平成19年7月」に変更いたしました。

なお、再処理施設の工程変更に伴う建設工事費への影響につきましては、現在精査中であり、まとめ次第お知らせいたします。

別紙 2

使用済燃料の取得計画及び予定再処理数量

(単位：t・U_{pr})

年度	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
取得計画	8	24	96	340	312	0	524	434	550	550	650	800	800	800
予定 再処理数量								15	258	392	440	600	760	800
貯蔵量	8	32	128	468	780	780	1304	1723	2015	2173	2383	2583	2623	2623

注：・t・U_{pr}は照射前金属ウラン質量換算です。

- ・1998 (H10) 年度から 2004 (H16) 年度までは実績値です。
- ・今年度の使用済燃料の取得計画については 575 t・U_{pr} から 434 t・U_{pr} に変更しています。(9月14日お知らせ済み。)
- ・貯蔵量は輸送容器(キャスク)に収納されている使用済燃料も含まれます。

(参考)

平成 17 年 3 月に公表した計画

(単位：t・U_{pr})

年度	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
取得計画	8	24	96	340	312	0	527	575	550	550	600	800	800	800
予定 再処理数量								34	358	326	467	627	787	800
貯蔵量	8	32	128	468	780	780	1307	1848	2040	2264	2397	2570	2583	2583

注：t・U_{pr}は照射前金属ウラン質量換算です。

貯蔵量は輸送容器(キャスク)に収納されている使用済燃料も含まれます。